

第三十七回句会 俳句

【高点句】

- ☆鐘の音のより近くなり後の月 〈莫院〉
- ☆白砂に風の足跡秋深む 〈眞澄〉
- ☆ジャム瓶の封緘は金小鳥来る 〈明美〉
- ☆独り居の友に一皿栗こはん 〈眞澄〉

【各自一句】

- ・灯台の灯りはるかに月祀る 〈きさ〉
- ・むき栗を底に見つける宅急便 〈青蛙〉
- ・栗の皮固し選挙の当落選 〈莫院〉
- ・ポケットに団栗ふたつ指で撫で 〈撫子〉
- ・団栗の落ちる校庭師と出逢ふ 〈千恵〉
- ・朝顔の採り残したる種三つ 〈安津子〉
- ・银杏の落ちて踏まれて潰されて 〈一馬〉
- ・名月を真上にすえて飛鳥の湯 〈童心〉
- ・名月やバルセロナでも北京でも 〈明美〉
- ・丸き背に一枚着せ掛け後の月 〈眞澄〉

*以上、30句(3句ずつ10名)より、選句は12名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句(今回は、第2位が同点で3句)

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による(得点順ではなく、俳句一覧表に

偶然記載された順に掲載)